

草木奇品家雅見 卷之中

廣瀬出雲龍うし

廣瀬出雲龍うし



丁亥夏日寫
雲云停員田

「廣瀬出 雲龍かし」、「廣瀬出 ほそ葉南天」

この「廣瀬」とは、出雲松江藩の支藩で雲州廣瀬藩の第8代藩主松平直寛のこと。

斯様に「草木奇品家雅見」の中では、大名、旗本、町人の分け隔てなく、名前を呼び捨てにしてしまっている。

恐らく、本書が世に出た段階でも物議を醸したと考えられるが、後年、天保改革の際、儒家林家出身の鳥居耀蔵には許し難いことであつたらう。

増田繁亭金太は、この天保改革によって闕所の罪となり、千駄ヶ谷の紀州藩下屋敷にしばらく身を隠すことになる。

6代目増田重次の生前の話では、罰を受けたのは遠山金四郎影元が月番の北町奉行のときで、鳥居耀蔵の執拗な追及から金太は救われたものと考えられる。

なお、天保3年の「小万年青名寄」には、上段に繁亭金太（権田原金太郎）の万年青、その下段に「遠山」の万年青が刷られているが、この「遠山」が遠山金四郎影元とは断定できない。（2009.11.23）

Copyright (C)2009 増田信敬 (masuda nobutaka) All rights reserved

出典 「草木奇品家雅見」 文政10年（1827年） 増田繁亭金太 著 架蔵本

（参考文献）

- ・「「草木奇品家雅見」解説」昭和51年 監修者 岩佐亮二、執筆者 塚本洋太郎、前島康彦、笠原基知治、横井政人、広瀬嘉道、芦田潔 青青堂出版
- ・「盆栽文化史」昭和51年 岩佐亮二 八坂書房
- ・「小おもと名寄」天保3年(1832年) 水野忠暁編 参照先 <http://www.ndl.go.jp/nature/cha2/index.html#h308>

<http://soumokukihinkagami.com/>